

平成11年度 宮崎県立看護大学研究集談会

回数	演 題	発表年月日	発表者
第1回	悪性疾患の青年期患者は病気に関してどのように情報を得て、理解しているか？	1999. 5. 26	三宅玉恵
第2回	ガン「告知」考	1999. 6. 23	汲田克夫
第3回	看護基本技術の修得レベルを高めるための教材開発に関する研究 — マルチメディアを活用して —	1999. 9. 27	栗原保子
第4回	鉄欠乏性貧血が脂質代謝に及ぼす影響	1999. 10. 27	田中美智子
第5回	看護大学生におけるメンタルヘルスに関する研究 第一報 — エゴグラム性別特性検査の経時的変化とY-G性格特性を通して —	1999. 11. 24	川村道子
第6回	献体登録者の健康観 — 「私と献体」(財)日本篤志献体協会発行の分析より—	1999. 12. 22	赤星誠
第7回	「音楽コミュニケーションの効用～心身の健康を促し、21世紀を明るくするために」	2000. 1. 26	大村典子
第8回	「精神科学と精神医学」— 看護に役立つ精神医学とは (1)	2000. 2. 23	布施裕二

宮崎県立看護大学研究紀要投稿規定

1. 本紀要の目的

本紀要は本学専任教員の研究成果の発表の場として、定期的に刊行される。

2. 投稿資格

投稿は、原則として、本学専任教員に限る。但し、本学専任教員との共同研究者及び紀要編集委員会（以下委員会という）が依頼した者についてはこの限りではない。

3. 論文の採否及び掲載順序

原稿掲載の採否は査読者の判定を参考にして委員会が決定する。論文は原則として受理した順に掲載するが、編集の都合上順序を変更することもある。

4. 研究上の倫理規程の遵守

人体を対象とする研究はヘルシンキ宣言（1964年、1975年改定）に述べられている科学的、道徳的規範を満たすこと。人体被験者には研究内容をあらかじめ十分に説明し、必ず自由意思に基づく同意を得ること。動物実験では動物福祉の立場から適切な実験計画を立て、全実験期間を通じて痛みや苦痛を与えていないような配慮が必要である。従ってその方法について、本文の実験方法の項で詳しく記載すること。

5. 投稿原稿の種類及び書式

1) 原稿の種類

総説、展望、講座、原著（短報を含む）、事例報告、資料とする。原著及び短報は未発表のものに限る。原著は本誌10頁以内、その他は5頁以内を原則とする。

2) 原稿の書式

(1) 原稿はA4版の用紙にワード・プロセッサを用い、和文の場合は1頁あたり22字×22行を目安に作成すること。英文の場合は国際版タイプ用紙（216×280mm）に1頁あたり200語を目安にダブル・スペースで作成すること。本誌1頁に相当する原稿は、和文原稿で4枚、英文原稿で3枚、引用文献で20件となる。英文は必ず予め native speaker により校閲を受けておくこと。

最終受理原稿は、MS-DOS テキストファイルに変換し、3.5インチのフロッピー・ディスクに保存し、原稿とともに提出すること。その際、使用機器、使用ソフト名、保存ファイル名を明記すること。

- (2) a. 和文表題部（1頁目）：表題、著者名、所属、キー・ワード（5項目以内）
b. 英文表題部（2頁目）：表題、著者名、所属、キー・ワード（5項目以内）
c. 和文抄録（3頁目）：800字以内
d. 英文抄録（4頁目）：200語以内
e. 本文（5頁目以降、項目毎に改頁）
・原著・短報での項目（I。序論、II。対象と方法、III。結果、IV。考察）
・事例報告での項目（I。序論、II。事例、III。考察）
・その他の原稿では適宜項目を立て、見出しを付ける。
・項目番号は I, II, III, ……; A, B, C, ……; 1, 2, 3, ……; 1), 2), 3), ……; (1), (2), (3), ……; a, b, c, ……の順に使用する。
f. 本文に続いて（項目毎に改頁）、謝辞、文献、図の説明とし、最後に図表を添付する。
g. その他：外国語の単語（人名、学名、薬物名、商品等）は原語で記載し、固有名詞の頭文字は大文字、他の単語の頭文字は文頭以外は小文字とする。数字は算用数字を用い、単位は国際単位系を用いること。
- (3) 引用文献：文献は下記の例にならって引用順に、著名者は全員列記すること。雑誌名は、欧文雑誌では Index Medicus に示されている略称を、和文雑誌では各雑誌により決められている略称を用いること。本文中には引用順に、引用箇所の右肩に 1), 2), 3) の形式で番号をつけること。
- 雑誌の場合：著者名：論文表題、雑誌名、巻

(号)：最初頁～最後頁，発行年（西暦）

1. 薄井坦子，嘉手苺英子，山本利江，山岸仁美，新田なつ子：ナイチンゲール看護論の形成過程を探る——思索への示唆を通して——(2)，ナイチンゲール研究3号：52～60，1995

2. Davidhizar R., Austin J. and MacBride A.: Attitudes of clients toward taking medication in the hospital, *Research in Nursing and Health* 9: 139～146, 1986

単行本の場合：著者名：表題，書名，編者，版，最初頁～最後頁，発行所，発行年（西暦）

1. ナイチンゲール言葉集，薄井坦子編，1版，19～20，現代社，1955

2. Tarrier N.: Education. in: *Families of Schizophrenic Patients-Cognitive Behavioral Intervention*—, edited by Barowclough C., Tarrier N., 74～83, Chapman & Hall, 1992

(4) 図および表の説明：図および表の説明は一括して別紙（A4用紙）に記載すること。光学顕微鏡写真の説明には染色法，原倍率を示し，電子顕微鏡写真には単位を示すバーを入れること。本文中には図1，表I（英文ではFig.1, Table 1）のように記載すること。また，図表の挿入希望箇所を本文原稿右欄外に赤鉛筆で示すこと。

(5) 図および表：図は黒インクで清書し，矢印や記号等をレタリングで記入した原図。またはキャビネ版の印画紙に焼付けたものをA4用紙に貼り，図と表にはそれぞれに通し番号を付けて提出すること。写真は原寸大までの鮮明なものをA4用紙に貼って提出すること。カラー印刷（別途料金）を希望する場合にはカラースライドまたはカラープリントを添付し，その旨を明記すること。被験者が本人であると判断できるような写真を掲載する場合にはその許可を得たことを示す文書コピーを添付すること。

6. 原稿の締切：10月末日

7. 紀要発行日：年度末（3月末日）

8. 原稿の送付先：論文は査読者に送られるので，オ

リジナル1部と共にコピー2部を付けて下記宛送付すること。但し，図が写真の場合にはコピーは難しいので，原図写真2部添付すること。

〒880-0924 宮崎市大字郡司分字薦ヶ迫乙2203番地
宮崎県立看護大学附属図書館内 研究紀要委員会

9. 校正：原則として，著者校正は初校までとする。その際的大幅な加筆訂正はできない。

10. 別冊：著者（first autor）には50部を無料で贈呈し，それ以上の部数を必要とする場合は，著者の実費負担とする。

11. 著作権：本紀要に掲載された論文の著作権（著作権，copyright）は委員会に属する。論文に他の人の図表を転記する場合は，著作権の所有者より転載許可を受け，そのコピーを提出すること。

（研究紀要委員会・Jan.11,1999）

編集後記

宮崎県立看護大学研究紀要第1号を刊行する運びとなりました。すべてが新しい試みなので、予測できなかったことも多々あり、作業が滞りがちでしたが、ここに公にすることができました。

21世紀に向けて、着実な発展が望まれている看護教育・研究の成果の発表の場として相応しいものにするため、各方面のご批判をいただきながら、今後更に充実を図っていきたいと考えています。

発刊までにご協力いただいた方々に深甚の謝意を表します。また、編集業務を遂行された大畑佳代、林玲子両氏に心から感謝します。

研究紀要委員

橘 宣 祥(委員長)

三 瓶 眞貴子

赤 星 誠

加 藤 幸 信

田 中 美智子

宮崎県立看護大学研究紀要

第1巻(第1号)

2000年4月 発行

発行所 宮崎県立看護大学
〒880-0924 宮崎県宮崎市郡司分薦ヶ迫乙2203番地
T E L 0985-59-7700 (代) F A X 0985-59-7771

印刷所 北 一 株 式 会 社
〒880-0903 宮崎県宮崎市太田3丁目1番31号
T E L 0985-51-5100
